

難民食料支援学び語り合う会⑩ ご案内

主催：NPO 名古屋難民支援室、アジア・ボランティア・ネットワーク・東海、地域と協同の研究センター
協力：生活協同組合コープあいち ※予定は変更になる場合があります。

テーマ：日本（東海地域）にくらす難民の方々とともに学び語り合う



私たちは第6回～第8回の学び語り合う会で、東海地域にくらしている難民の方々の現状・想いをお聞きしました。ご自身の人生に対する思い、ご家族への思いに触れ、参加者皆が様々なことを考える機会となりました。

今回は、ロヒンギャ難民のキンマウンソーさんをお招きしてお話を聞き、学び語り合いました。彼は2007年12月に来日し、難民申請を4回繰り返してきましたが認定されませんでした。

2020年に裁判を起こし、2024年1月25日の名古屋高裁の判決により、難民の認定をしない処分の取り消しと、法務大臣に対し、難民認定せよ、という判決が言い渡され、国（法務大臣）側が最高裁への上告を諦めて、この判決は確定しました。日本で難民認定を求めて16年、ようやく難民として認められたのです。やっとたどり着いた日本の空港で「入国はできない」ととどめ置かれた経験、収容や仮放免などキンマウンソーさんの体験談は、私たちの胸に染み入りました。私たちに何ができるのか、これからも考え合い続けたいと思います。日本は「安全でいい国だ」というイメージがあるとのこと。その日本で、キンマウンソーさんはたいへんつらい思いを16年間されています。しかし、彼は「日本に来て16年、何もできなかったので、今からみなさんと子どもたちのためにがんばる。」と言われました。

難民のみなさんの声をご一緒に聞きますか。第10回目の学び語り合う会を、以下の日程で開催します。ぜひご参加ください。初めての方も大歓迎です。疑問や質問を出し合い、難民の方に率直にお答え（教えて）いただけるような時間をとり、今後の取り組みについてもみんなで一緒に考えたいと相談しています。

5月25日（土） 13時30分～16時

会場 コープあいち生協生活文化会館4階会議室（名古屋市千種区稲舟通1-39） 定員 50名
" 豊橋生協会館 会議室（豊橋市牟呂町松崎15） 定員 35名

オンライン

※参加費 無料 食料支援の食料品・現金の寄付を募ります。

※お申込み・お問い合わせ先（地域と協同の研究センター 平日10時～17時 伊藤まで）

電話 052-781-8280 FAX 052-781-8315

e-mail AEL03416@nifty.com <http://www.tiiki-kyodo.net/>

右のQRコードからもお申し込みいただけます。前日までにお願いします。

お申し込みの際 以下のことをお伝えください。

名前・所属（あれば）・連絡先

参加方法： 会場参加（名古屋・豊橋）

オンライン参加（オンライン参加の方はメールアドレス）



参加申込フォーム

食料支援品の仕分け発送は、7月7日（日）10時～